

公式試合記録



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名 第88回 全日本男子ホッケー選手権大会

試合番号 15	備考 決勝	年 平成 26	月 12	日 7	時間 14:00	場所 親里ホッケー場	ピッチ 人工芝 (W)
------------	----------	------------	---------	--------	-------------	---------------	----------------

チーム名 名古屋フラーテル	試合 1 - 0	チーム名 箕島クラブ
	前半 1Q 1 - 0 2Q 0 - 0	
	後半 3Q 0 - 0 4Q 0 - 0	

	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	5	1	中山 康大			
2	4	2	川上 良平			
3	✓	3	粥川 幸司			
4	✓	4	小野 知則			
5	8	5	佐々木 拓郎			
6	3	6	河内 伸仁			
7		7	Gk 森嶋 彬			
8	✓	9	藤本 一平			
9	✓	10	山部 晃嗣			
10	✓	11	川上 啓			
11	✓	12	吉原 平太			
12	✓	13	山下 学			
13	✓	14	長澤 克好			
14	✓	16	畠山 学			
15	✓	(17)	橘 敏郎	19		
16	3	18	井島 光希			
17	5	22	大門 美生			
18	✓	24	Gk 新本 優			

	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	✓	1	Gk 清水 大貴			
2	✓	2	戸田 和孝			
3	✓	4	佐々木 康介			
4	✓	5	小澤 浩平			
5	✓	(6)	谷口 直哉			
6	✓	7	江川 佑樹			
7	✓	8	西川 尚裕			
8	✓	9	田中 健太			
9	✓	11	北村 貴之			
10	3	12	渡邊 宏樹			
11	✓	13	坂本 博紀			
12	39	15	蜂谷 俊幸			
13	✓	16	大西 春輝		21	
14		18	Gk 川村 明弘			
15		19	Gk 田中 斐			
16		20	中尾 年博			
17						
18						

チャレンジ権の行使 (成功○、失敗×を記入)

時間	3				
判定	○				

特記事項

監督 鹿野 育郎

アンパイア 近藤 聡史

リザーブアンパイア 成田 健一

ジャッジ 西上 英雄

ジャッジ 我妻 活美

チャレンジ権の行使 (成功○、失敗×を記入)

時間					
判定					

監督 中尾 年博

アンパイア 高橋 英行

サジェスチョンUP 戸塚 洋介

サジェスチョンUP 富山 喜正

T. O. 馬場 治男

チーム	時間	No.	種	スコア
名古屋	9	16	PG	1-0

チーム	時間	No.	種	スコア

チーム	時間	No.	種	スコア

<決勝>

名古屋フラーテル	1	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	箕島クラブ
	1	PC	3	
	12	シュート	9	

得点	名古屋→9分 畠山
戦評	<p>名古屋のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから名古屋は箕島陣内で優位にゲームを進める。一方、箕島はしっかりと守りながらカウンター攻撃を狙う作戦。最初のチャンスは、5分に箕島はMF坂本がFW大西のセンターリングをタッチシュートが、ゴールマウスをとらえきれない。じっくり攻める名古屋は8分、PCを獲得。FB畠山のフリックシュートはゴール右中段のサイドネットを揺らし、1-0と先制。その後も両チーム激しい攻防を続け、1-0の名古屋リードで第1Qを終える。</p> <p>第2Qも両チーム激しい攻防を続ける。25分、名古屋はFW河内がサークルトップからリバースシュートを放つも、枠をとらえきれない。その後は、両チーム決定的なチャンスを作ることができず、1-0のまま第2Qを折り返す。</p> <p>第3Q、追加点を狙う名古屋は39分、FW橘がサークル内でパスを受け、強烈なシュートを放つが、箕島GK清水が好セーブで防ぐ、そのリバウンドボールを名古屋のFW大門が拾いサークルインするも、再び箕島GK清水が好セーブで防ぐ。43分、箕島はPCを連続獲得。しかし、シュートまで繋げることができない。両チームチャンスを生かすことができず、第3Qも名古屋のリードは変わらない。</p> <p>第4Qも序盤から両チーム激しい攻防を繰り広げる。追いつきたい箕島は50分、FB佐々木がサークルインし、リバースシュートを放つも、枠をとらえきれない。56分、箕島はPCを獲得。FW北村がリバウンドをダイレクトシュートするも、ゴール上に外れる。攻撃を続ける箕島は、57分、パワープレーで猛攻するが、名古屋が堅守を見せ1点を守りきり、1-0で勝利。名古屋は3年連続18度目の優勝を決めた。</p>

テクニカルオフィサー	馬場治男 西上英雄	アンパイア	近藤聡史 高橋英行
ジャッジ	我妻活美 尾木典隆		